

如從地涌○下

〔應仁記一〕亂前御晴之事

天下ハ破レバ破ヨ、世間ハ滅バ滅ヨ、人ハトモアレ、我身サヘ富貴ナラバ、他ヨリ一段瑩美ト様ニ  
 振舞ント成行ケリ、サレバ若シ五六年ノ間、一度ノ晴儀サヘ、由々敷諸家ノ大儀ナルニ、此間打續  
 九ケ度迄執行ハレケル、先一番ニ將軍家ノ大將ノ御拜賀結構、二番ニ寛正五年三月、觀世ガ河原  
 猿樂、三番ニ同年七月、後土御門院ノ御即位、四番ニ同六年三月、花頂若王子大原野ノ花見ノ會、五  
 番ニ同八月、八幡ノ上卿、六番ニ同年九月、春日御社參、七番ニ同十二月、大嘗會、八番ニ文正元年三  
 月、伊勢御參宮、九番ニ花之御幸也、去レバ花御覽ノ結構ハ、以百味百菓ヲツクリ、御前ノ御相伴衆  
 ノ筋ヲバ金ヲ以展之、御供衆ノ筋ヲバ沈ヲ以削之、金ヲ以逆鰐口ヲカク、如此面々粧ヲノミ刷ン  
 ト奔走セシマ、皆所領ヲ質ニ置キ、財寶ヲ沽却シテ勤之、諸國ノ土民ニ課役ヲカケ、段錢棟別ヲ  
 譴責スレバ、國々名主、百姓ハ、耕作ヲシエズ、田畠ヲ捨テ、乞食シ、足手ニ任テ、闕行、萬邦ノ郷里村  
 縣ハ、大半ハ郊原ト成ニケリ、嗚呼鹿苑院殿○足利義滿御代ニ、倉役四季ニカ、リ、普廣院殿○足利義教  
 御代ニ成、一年ニ十二度カ、リケル、當御代臨時ノ倉役トテ、大嘗會ノ有リシ十一月ハ九ケ度、十  
 二月ハ八ケ度也、

〔當代記〕慶長十八年四月廿五日、大久保石見守○長死去、五月十七日、大久保石見男共、蒙勘當○中  
 略

大久保石見守遺物堅被改付、金銀從諸國上分、凡五千貫目餘ト云々、其外金銀ニテ拵タル道具、不  
 知其數、何も駿府へ藏納右之道具、大方の覺、茶椀、天目、同臺、椀、折敷、印籠、香合、茶釜、同風爐水桶、燭臺、  
 手水盥、同柄指、手巾懸、香盆、鏡臺、櫛箱、同櫛、油桶、燭真取、手箱、シヤミセン、キセル、そのほか女人の道  
 具ニカ、ラヌ物共有トカヤ、一笑々々、右何も金子、銀子、二通有ケルト也、前代未聞次第也、右之